

国際協力イニシアティブ



“日本の「知」を活用した国際協力”

1. 「知」の活用

大学等の教員や研究関係者が有する我が国の知見を整理・蓄積し、援助機関やNGO等の国際協力関係者が現地で活動する際に役立つ活動モデルや参考教材を作成しています。

また、「青年海外協力隊」に参加している現職教員に対して、現地で使用可能な教材の作成・提供、派遣中の活動に対する教育上の助言、帰国後に行う国際理解教育活動への協力などの支援を行っています。



●作成されたハンドブックや教材



●作成された教材を使った授業風景

平成19年度実施課題

【教育研究に関する我が国の経験の活用】

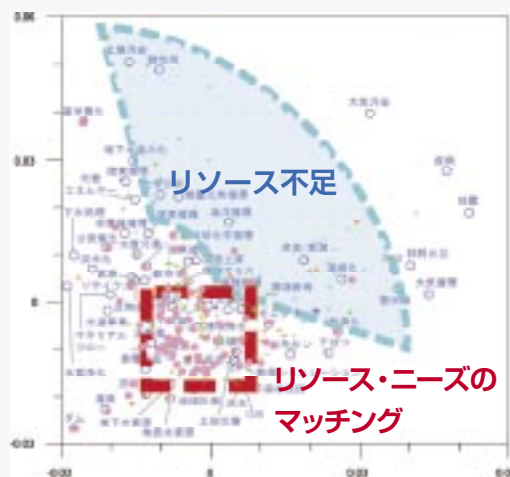
| | |
|----------|---------------------------------------------------------|
| 愛知教育大学 | 開発途上国の産業技術教育を支援するコアカリキュラム提供システムのモデル構築 |
| 愛媛大学 | 生命科学を中心とした統合型理科教育に関する国際協力 |
| 大妻女子大学 | 学校保健分野における教育協力の持続的な開発を目指す活動事業 |
| お茶の水女子大学 | 開発途上国における女子教育支援のモデルの構築 |
| 神戸大学 | サブサハラアフリカにおける初等教育普及政策および行財政制度に関する比較分析 |
| JNNE | ライフスキル教育プロジェクト・マニュアルの開発 |
| 拓殖大学 | 途上国における教育の「質」の向上に資する教育手法の開発及び実践 |
| 筑波大学 | 知的援助リソース・ニーズデータベースにもとづく水資源・環境・災害教育協力モデルの最適化とその検証 |
| 東京農業大学 | NGOと大学との連携による食農環境教育支援システムの構築 |
| 豊橋技術科学大学 | 産学連携による開発途上国の大学工学部の機能強化 |
| 鳴門教育大学 | 授業を中心とした校内研修の導入による初中等教育の質的向上 |
| 広島大学 | スキル・ディベロPMENT分野の教育協力と経済発展に関する調査研究 |
| 北海道大学 | 開発途上国の労働者を対象とする職業保健に関する国際教育協力モデルの開発 |
| 九州大学 | インドシナ地域における農学・獣医学系大学でのアウトリーチ活動の現状と協力普及の理論と検証 |
| 筑波大学 | 一村一品プロジェクトを支援するバイオアッセイ技術習得のための食農環境教育モデルの構築 |
| 名古屋大学 | 伝統知識・技術の再活性化によるアフリカの草の根的開発(Grass Root Development)と環境保護 |
| 日本大学 | 発展途上国の地域ニーズに対応した口腔保健システムの構築のための教育支援 |

【青年海外協力隊派遣現職教員の支援】

| | |
|----------|-------------------------------------|
| お茶の水女子大学 | 幼児教育分野における派遣隊員支援と幼児教育協力の質的向上 |
| 筑波大学 | 筑波大学附属小学校を拠点とした派遣現職教員支援システムの構築 |
| 筑波大学 | 障害児教育分野における海外青年協力隊派遣現職教員サポート体制の構築 |
| 鳴門教育大学 | 派遣現職教員の活動の幅を広げるハンズオン素材とその活動展開モデルの開発 |
| 日本女子大学 | 家政分野における派遣現職教員の活動支援教材および指導法の開発 |
| 宮城教育大学 | 海外教育協力者に対する環境教育実践指導と教育マテリアルの支援 |

2. 「知」のマッチング

我が国の大学等が有する「知的リソース」と、途上国の大学等が日本に求める「協力ニーズ」を調査し、それらの分布状況を把握・分析することによって、より効果的な国際協力活動の実施を目指しています。



3. 「知」のネットワーク

学問的な専門分野別に大学教員や援助関係者などの専門家からなる「知的ネットワーク」を形成し、国際協力における各分野の動向の把握や大学等が行う国際協力活動に対するアドバイスなどを行います。